

## 平成21年9月期 第2四半期決算短信

平成21年5月13日

上場取引所 東 福

上場会社名 東福製粉株式会社

コード番号 2006 URL <http://www.tofuku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野上 英一

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 進藤 孝

TEL 092-781-1661

四半期報告書提出予定日 平成21年5月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年9月期第2四半期の連結業績(平成20年10月1日～平成21年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第2四半期	2,245	—	53	—	13	—	△6	—
20年9月期第2四半期	1,886	△2.5	43	270.5	47	102.8	41	43.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年9月期第2四半期	△0.67	—
20年9月期第2四半期	4.16	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年9月期第2四半期	4,126	1,639	39.7	164.56
20年9月期	4,078	1,705	41.8	171.20

(参考) 自己資本 21年9月期第2四半期 1,639百万円 20年9月期 1,705百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年9月期	—	—	—	0.00	0.00
21年9月期	—	—	—	—	—
21年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年9月期の連結業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,532	12.0	87	△23.6	49	△54.6	23	△69.7	2.30

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年9月期第2四半期	10,000,000株	20年9月期	10,000,000株
② 期末自己株式数	21年9月期第2四半期	36,133株	20年9月期	35,251株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年9月期第2四半期	9,964,567株	20年9月期第2四半期	9,965,568株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであります。実際の業績等は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成20年10月1日～平成21年3月31日）における我が国の経済は、政府による定額給付金などの景気刺激策がとられてはいるものの、世界的金融不安による株式市場の低迷や雇用情勢の悪化の影響は未だに衰えず、個人消費の低迷など企業を取り巻く環境は依然と厳しい状況にあります。

製粉業界におきましては、これまで数回に渡る輸入小麦政府売渡価格の値上げが行われましたが、本年4月においては値下げが実施され市場環境は大きく変化しております。また、偽装表示や不正流通事件など食品の安全に対する不信感はますます強まる傾向にあり、厳しい経営環境は続いております。

このような中、当社グループは前期に引き続き内部統制の充実、販路の拡大、コスト低減及び日本製粉株式会社との業務提携の推進などに加え、製品の安全・安心及び生産の効率化を主体とする約3億円相当の設備投資計画を実行して参りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高22億4千5百万円、営業利益5千3百万円、経常利益1千3百万円、四半期純損失6百万円となりました。事業部門別の状況は次のとおりであります。

#### <製粉事業>

製粉事業におきましては、主力の小麦粉は消費低迷の続く中、利益確保を重視した販売や積極的な営業活動に努めてまいりました。副製品のふすまは、高値で推移しました。その他の部門におきましても、主力の小麦粉と同様にミックス粉製品の販売経路の拡充を図ってまいりました。また、麺類・穀類その他商品につきましては、新規顧客の開拓を課題として、地道な営業活動に取り組み売上が着実に伸ばしました。不動産収入は、賃貸料の一部を引き上げを行いました。以上の結果、製粉事業の売上高は、22億2千2百万円、営業利益1億7千8百万円となりました。

#### <不動産事業>

不動産事業におきましては、計画通りに推移しましたので、不動産事業の売上高2千2百万円、営業利益1千万円となりました。

損益面につきましては、持分法適用会社において固定資産の減損処理を行ったことにより、持分法による投資損失2千4百万円を計上したほか、特別損失で貸倒引当金繰入1千2百万円を計上しましたので、当四半期純損失は、6百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末（平成20年9月30日）に比べ4千7百万円増加し、41億2千6百万円となりました。その主なものは、投資有価証券は減少しましたが、現金及び預金が増加したことによるものです。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1億1千3百万円増加し、24億8千6百万円となりました。その主なものは、長期借入金の増加によるものです。純資産につきましては、その他有価証券評価差額金が5千9百万円減少しましたので、前連結会計年度末に比べ6千6百万円減少し、16億3千9百万円となりました。

#### （キャッシュ・フローの状況）

当四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、5億1千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ2億7千3百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億2千2百万円の収入となりました。この主な要因は、税金等調整前当期純利益やたな卸資産が減少したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2千万円の支出となりました。この主な要因は、有形固定資産取得のための支出によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、7千1百万円の収入となりました。この主な要因は、長期借入による収入であります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の連結業績は、依然として厳しい経営環境下にあるながらも、販売努力により売上高は、ほぼ計画通りとなりました。しかし損益面では、特別損失や持分法による投資損失の計上により当四半期純損失6百万円となり、業績予想より大きく下方修正することとなりました。また依然として雇用情勢の悪化による個人消費の落ち込みは、回復の兆しが見えず、現在政府が行っている定額給付金などの景気刺激策がどの程度効果として現れるか不透明な状況にありますので、平成21年9月期通期業績予想につきましては、平成21年5月8日に開示いたしました「個別における特別損失の発生並びに第2四半期累計業績予想及び通期業績の修正に関するお知らせ」のとおり、変更させていただきます。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	522,569	239,866
受取手形及び売掛金	654,203	645,188
商品及び製品	351,646	431,520
原材料及び貯蔵品	333,877	389,443
その他	57,049	78,083
貸倒引当金	△42,858	△28,067
流動資産合計	1,876,486	1,756,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	796,047	821,931
機械装置及び運搬具（純額）	498,831	522,503
その他（純額）	221,083	137,966
有形固定資産合計	1,515,963	1,482,401
無形固定資産		
のれん	3,888	4,860
無形固定資産合計	3,888	4,860
投資その他の資産		
投資有価証券	484,780	590,388
その他	387,838	378,966
貸倒引当金	△142,758	△133,679
投資その他の資産合計	729,860	835,675
固定資産合計	2,249,711	2,322,937
資産合計	4,126,198	4,078,971
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	84,475	114,929
短期借入金	1,097,750	1,182,000
1年内返済予定の長期借入金	265,662	228,112
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	2,307	3,014
賞与引当金	16,510	20,619
その他	175,805	84,706
流動負債合計	1,682,511	1,673,381
固定負債		
社債	140,000	160,000
長期借入金	560,894	422,500
退職給付引当金	5,348	5,348
その他	97,804	111,807
固定負債合計	804,047	699,656
負債合計	2,486,558	2,373,038

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	67,876	67,876
利益剰余金	1,100,118	1,106,814
自己株式	△3,172	△3,133
株主資本合計	1,664,822	1,671,556
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△25,182	34,376
評価・換算差額等合計	△25,182	34,376
純資産合計	1,639,640	1,705,933
負債純資産合計	4,126,198	4,078,971

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)
売上高	2,245,612
売上原価	1,878,274
売上総利益	367,338
販売費及び一般管理費	313,399
営業利益	53,938
営業外収益	
受取利息	703
受取配当金	1,457
その他	3,671
営業外収益合計	5,832
営業外費用	
支払利息	19,903
持分法による投資損失	24,394
その他	2,004
営業外費用合計	46,302
経常利益	13,468
特別利益	
固定資産売却益	350
特別利益合計	350
特別損失	
たな卸資産評価損	1,886
貸倒引当金繰入額	12,510
特別損失合計	14,397
税金等調整前四半期純損失(△)	△578
法人税、住民税及び事業税	593
法人税等調整額	5,511
法人税等合計	6,105
四半期純損失(△)	△6,683

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
 (自 平成20年10月1日  
 至 平成21年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△578
減価償却費	54,662
貸倒引当金の増減額(△は減少)	23,869
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,109
前払年金資産の増減額(△は減少)	11,584
受取利息及び受取配当金	△2,161
支払利息	19,903
持分法による投資損益(△は益)	24,394
固定資産売却損益(△は益)	△350
売上債権の増減額(△は増加)	△29,722
たな卸資産の増減額(△は増加)	135,440
仕入債務の増減額(△は減少)	△30,453
その他	41,045
小計	243,525
利息及び配当金の受取額	2,150
利息の支払額	△22,342
法人税等の支払額	△970
営業活動によるキャッシュ・フロー	222,363
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△10,250
定期預金の払戻による収入	700
有形固定資産の取得による支出	△12,966
有形固定資産の売却による収入	450
投資有価証券の取得による支出	△920
その他	2,133
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,853
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△84,250
長期借入れによる収入	300,000
長期借入金の返済による支出	△124,056
社債の償還による支出	△20,000
自己株式の取得による支出	△96
自己株式の処分による収入	46
財務活動によるキャッシュ・フロー	71,643
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	273,153
現金及び現金同等物の期首残高	239,416
現金及び現金同等物の四半期末残高	512,569

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間（自平成20年10月1日 至平成21年3月31日）

	製粉事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	2,222,755	22,857	2,245,612	—	2,245,612
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,222,755	22,857	2,245,612	—	2,245,612
営業利益	175,452	10,971	186,424	△132,485	53,938

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品等

(1)製粉事業……………小麦粉、ふすま、ミックス粉、麺類等

(2)不動産賃貸事業……………娯楽遊戯設備の賃貸

[所在地別セグメント情報]

本国以外の国又は地域に所在する支店及び連結子会社が無いため記載しておりません。

[海外売上高]

海外売上高が無いため記載しておりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日)		百分比 (%)
	金額 (千円)		
I 売上高		1,886,983	100.0
II 売上原価		1,539,255	81.6
売上総利益		347,728	18.4
III 販売費及び一般管理費		304,034	16.1
営業利益		43,694	2.3
IV 営業外収益			
1. 受取利息	732		
2. 受取配当金	1,512		
3. 持分法による投資利益	22,557		
4. 受取手数料	1,018		
5. その他の営業外収益	1,697	27,518	1.4
V 営業外費用			
1. 支払利息	20,751		
2. その他の営業外費用	2,726	23,477	1.2
経常利益		47,735	2.5
VI 特別利益			
1. 貸倒引当金戻入益	572	572	0.0
VII 特別損失			
税金等調整前中間純利益		48,308	2.5
法人税、住民税及び事業税	588		
法人税等調整額	6,275	6,863	0.3
中間純利益		41,444	2.2